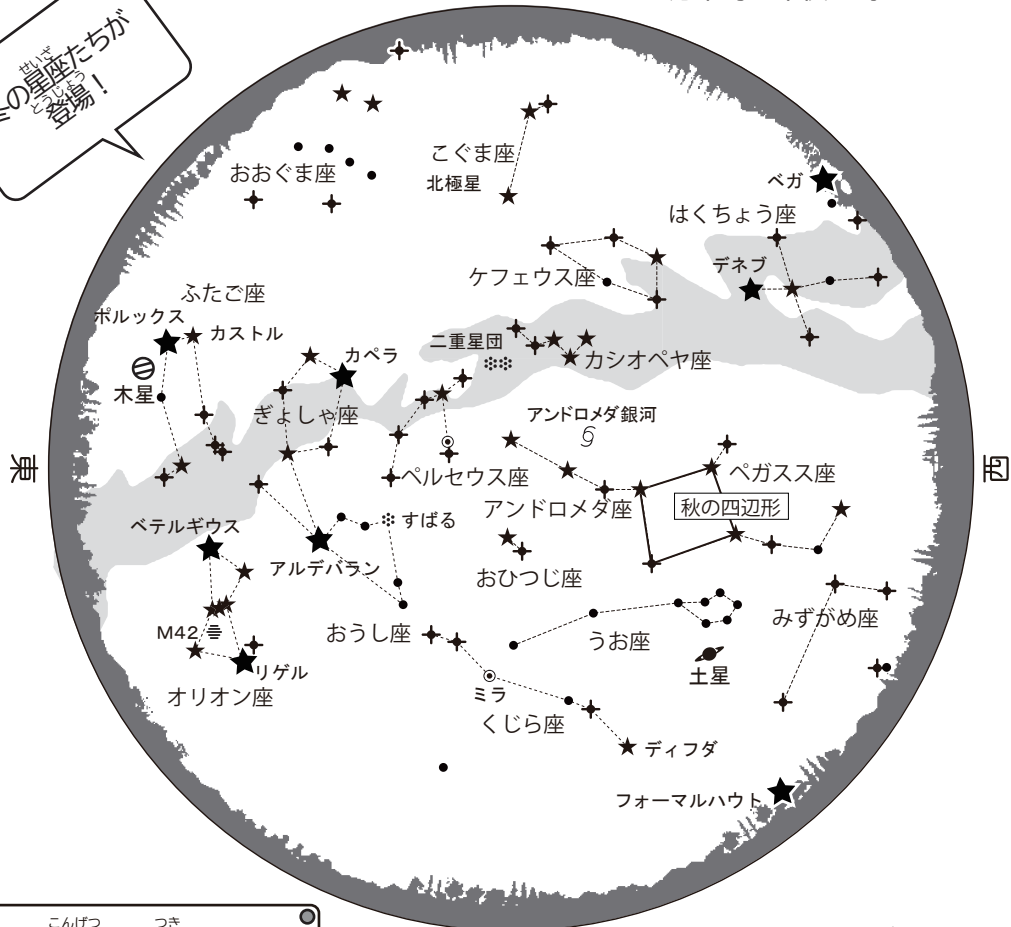


# 星空だより

2025年12月  
No. 181  
富山市科学博物館

12月中旬 午後8時ごろの星空

冬の星座たちが登場!



～今月のお月さま～			
12月 5日	満月	○	
12月 12日	下弦	◐	
12月 20日	新月	●	
12月 28日	上弦	◑	

南

見たい方角が  
下になるように持って  
その方角の空を  
見てね。



## 流れ星を見てみよう

12月14日は流れ星が多く流れる「ふたご座流星群」の極大日です。今年は14日の夜から15日の明け方にかけてがいちばん多く見られます。月が昇ってくる時間が遅いため、観測条件も良いです。街明かりの少ないところで空全体を見るようにしましょう。夜は寒くなりますので、あたたかい服装で見てくださいね。

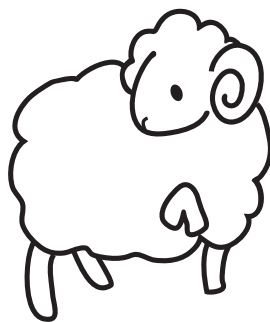
12月14日午後10時頃



ふたご座流星群の流れ星はふたご座から広がる方向に流れます。今年は木星がふたご座にいて、よい目印になります。

黄道十二星座紹介

## ☆ おひつじ座 ☆



おひつじ座は、ギリシャ神話に出てくる金色の毛皮を持ち、空を飛ぶことのできるひつじの姿といわれています。この金色の毛皮を求めてギリシャ神話の英雄たちが集まり冒険をした物語が伝わっています。

※黄道十二星座って?

太陽の通り道(黄道)に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

星空観察会

第2・第4土曜日の夜に開催。

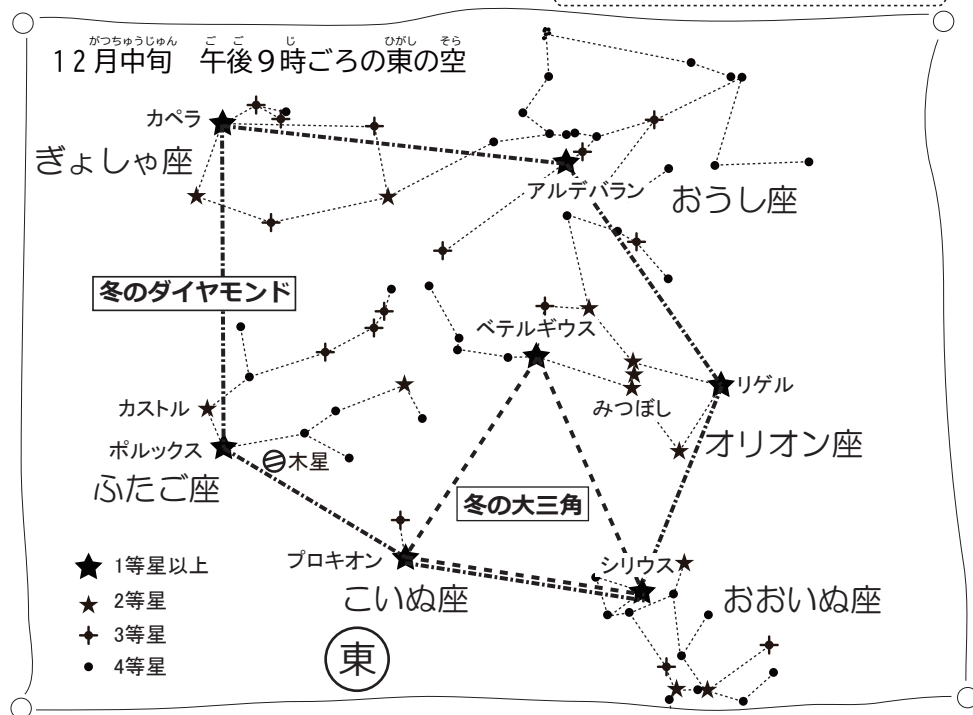
詳しくはウェブサイトをご覧ください。



今月の

# さがしてみよう

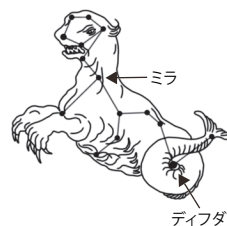
## 冬の星座たち



- 1 リボンのような形のオリオン座を見つけます。
- 2 オリオン座の真ん中の3つ並んだ星（みつぼし）を下にのばして、明るく輝くシリウスを見つけます。
- 3 オリオン座のベテルギウス、おおぐみ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンで作る「冬の大三角」を見つけます。
- 4 オリオン座のみつぼしを上にもばして、おうし座のアルデバランを見つけます。
- 5 そこから左にもばしてカペラと、五角形に並んだぎょしゃ座を見つけます。
- 6 ぎょしゃ座の下に、今年は明るく輝く「木星」があります。そばにふたご座の2つ並んだ明るい星、カストルとポルクスを見つけます。
- 7 シリウス、プロキオン、ポルクス、カペラ、アルデバラン、リゲルをつないでできる大きな六角形が「冬のダイヤモンド」です。

## 今月のオススメ星座！

### くじら座



しっぽのところにある2等星「ディフダ」が目印で、この星はくじらのしっぽという意味の「デネブカイトス」とも呼ばれます。また胸のところにある星は「ミラ」といい、明るさが変わる星（変光星）として知られています。

### ぎょしゃ座



ぎょしゃとは馬車の運転手のことです。黄色の1等星「カペラ」と、カペラをふくむ五角形の星の並びが目印です。カペラは「小さな雌ヤギ」という意味で、星座絵でもヤギをかかえた男の人が描かれています。

## 天文コラム

### 大みそかに月を見よう

大みそかの夜、月が「プレアデス星団（すばる）」をかすめるように並んで見えます。月が明るすぎて肉眼ではプレアデス星団が見えづらいため、双眼鏡を使うのがおすすめです。今年最後の天文イベントとして、月を見ながら年を越してみたいかがでしょうか？



12月31日23時 西の空（イメージ）